

佐賀市環境マネジメントシステムの 運用状況について ～令和 4 年度実績報告～

佐賀市 環境部 環境政策課

環境マネジメントシステムとは

E M S - Environmental Management System

- 企業や団体等の組織が、環境に関する方針や目標を自ら設定し、その達成に向けた取組を実施するための計画・体制・プロセスのこと
- また、こうした環境管理の取組状況について、客観的にチェックを行うことを「環境監査」という
- 環境マネジメントシステムには、環境省が策定したエコアクション21や、国際規格のISO14001がある



佐賀市環境マネジメントシステムとは

目的

- 環境の保護及び改善に資する活動の継続的な推進
- 率先行動及び効果的な行政運営の実現

適用範囲 ※市役所全体

- 事務事業や活動
- 全ての職員 約3,000人
- 庁舎、観光・文化・保健施設、学校、教育施設、企業局、病院など

実施方法

- ISO14001を参考にした独自のシステムを構築し運用
- 全体を23部門（各部局、各支所及び企業局など）に分け、
重点目標や共通目標の達成を目指して、PDCAサイクルにより実施

EMSの組織と役割

管理組織

- ・統括者：市長
- ・管理組織：環境管理委員会
事務局：環境政策課
- ・実行組織：全部署

計画実績等の評価
運用管理・内部監査
重点目標の設定、進捗管理、報告

外部評価組織

・環境審議会

1	総務部	9	子育て支援部	17	三瀬支所
2	企画調整部	10	地域振興部	18	川副支所
3	経済部	11	国スポ・全障スポ推進部	19	東与賀支所
4	農林水産部	12	各種委員会	20	久保田支所
5	建設部	13	教育部	21	交通局
6	環境部	14	諸富支所	22	上下水道局
7	市民生活部	15	大和支所	23	富士大和温泉病院
8	保健福祉部	16	富士支所		

※上記部門は令和4年度の体制。令和5年度は、企画調整部が政策推進部へ名称変更、建設部が都市戦略部と建設部に分かれている。

施策目標と共通目標

施策目標 ※環境基本計画に掲げる施策に関する事業

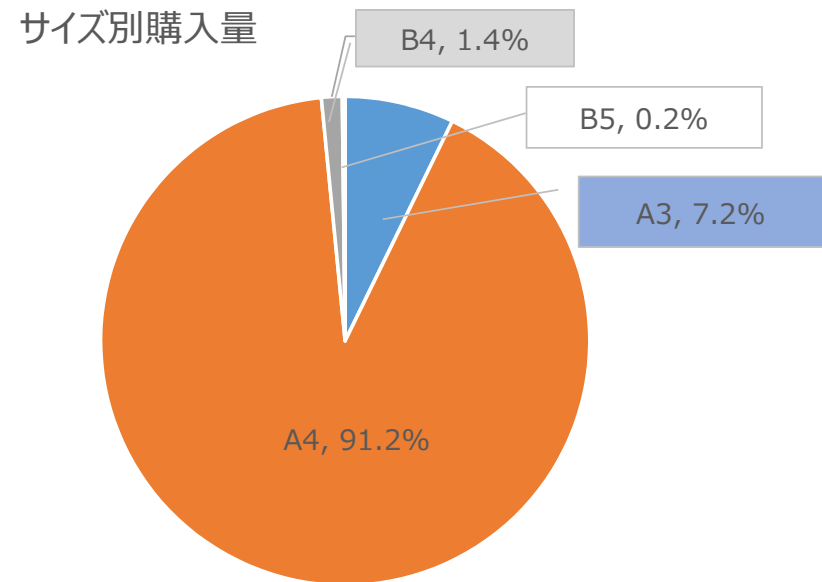
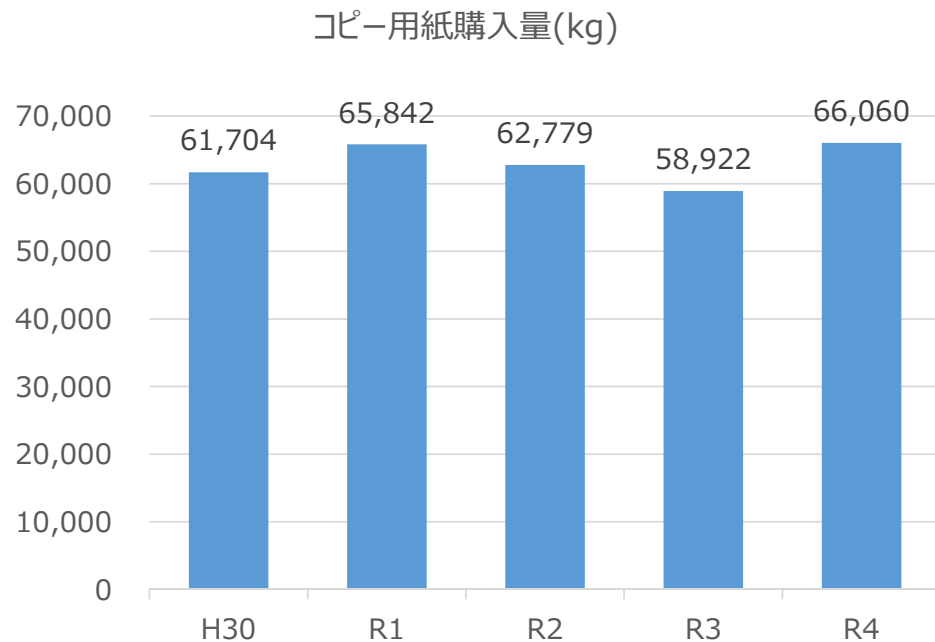
共通目標 ※全庁共通の取組

1	コピー用紙購入量の削減	部門毎に 活動指標を設定
2	職場排出物の抑制	
3	施設エネルギー使用量の削減	
4	自動車燃料使用量の削減	
5	グリーン購入の推進	目標達成率100%

達成度

目 標		対象 部門数	目標達成部門数		
			R 3	R 4	増減
1	コピー用紙購入量の削減	2 3	10	9	△1
2	職場排出物の抑制	2 3	11	6	△5
3	施設エネルギー使用量の削減	2 1	5	8	+3
4	自動車燃料使用量の削減	2 2	14	16	+2
5	グリーン購入の推進	2 3	10	9	△1

1 コピー用紙購入量の削減



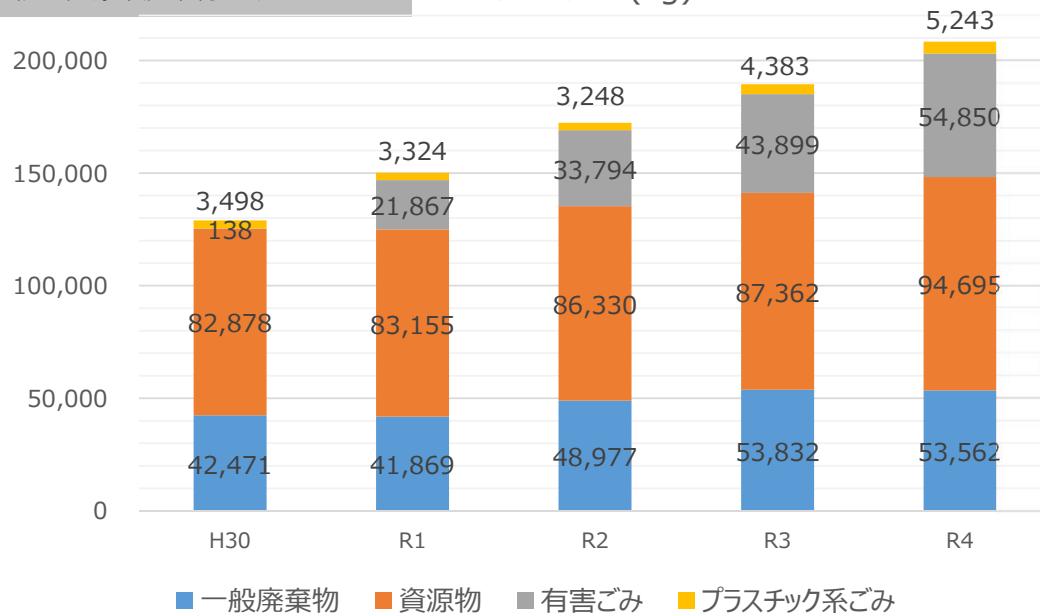
※新規事業開始によるものやコロナ後の活動再開に伴い購入量が増加。また、マイナンバーカード交付事務及び庁内マルチコピー機の設置のため、特に市民生活部で前年度に比べ大幅に増加している。

共通目標 1 : 総務部、企画調整部、農林水産部、建設部、保健福祉部、子育て支援部、
達成部門 教育部、久保田支所、交通局

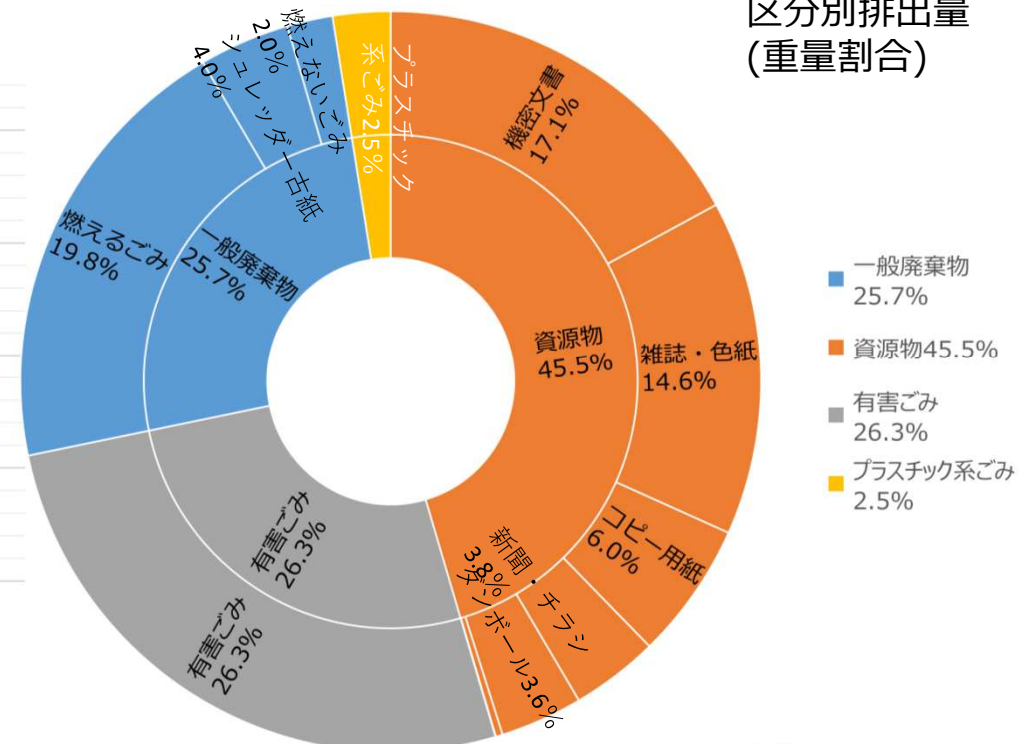
2 職場排出物の抑制

有害ごみ* R1から富士大和温泉病院の医療系廃棄物を計上している

ごみ排出総量(kg)



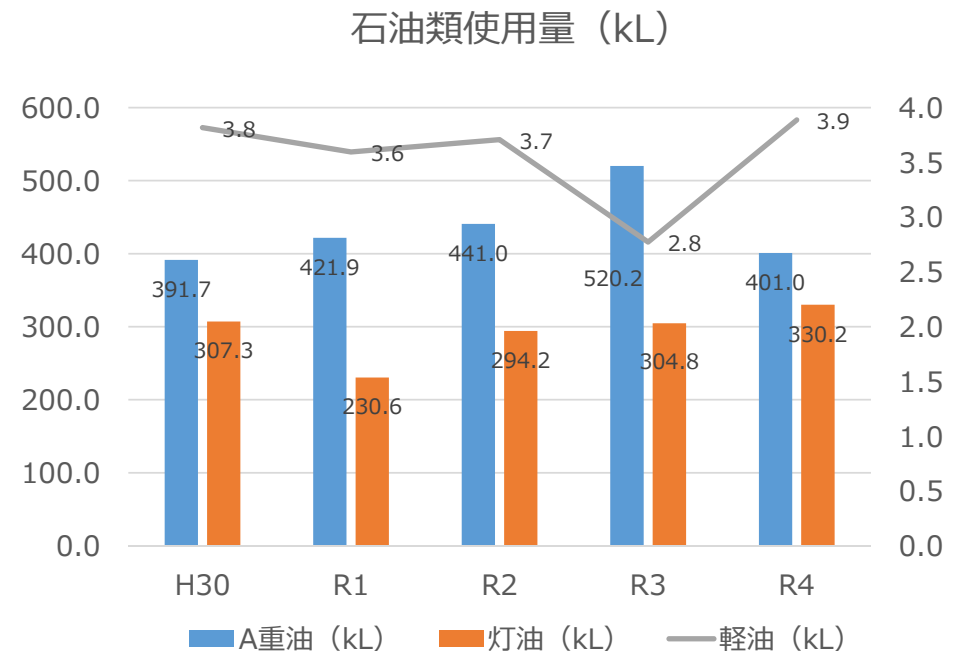
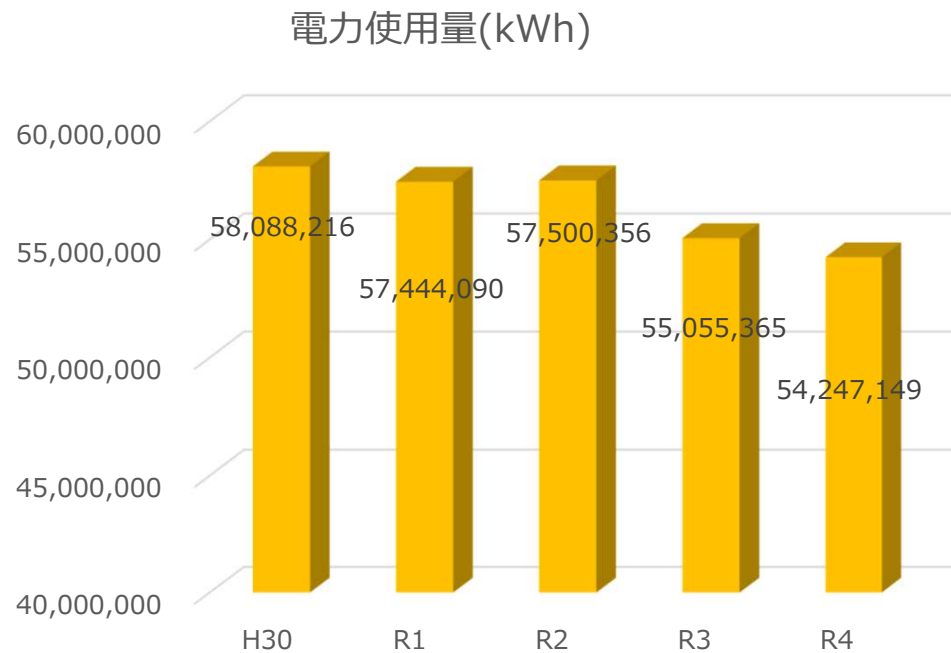
区分別排出量
(重量割合)



※機構改編に伴う資料整理や引っ越し等の影響により排出量増加。また、コロナ関連で有害ごみや個人情報書類が増加している。

共通目標 2：経済部、教育部、各種委員会、大和支所、富士支所、交通局
達成部門

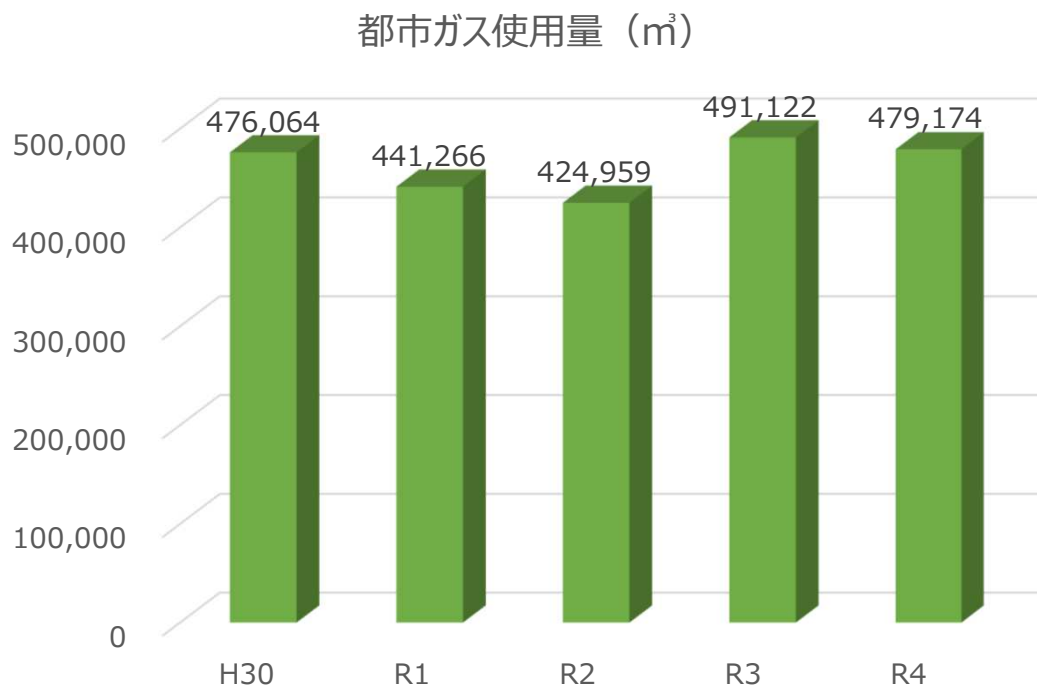
3 施設エネルギー使用量の削減（電気・石油類）



【電力】コロナ後の活動再開でエネルギー使用量が増えた施設もあるが、全体としては対前年度比約1.5%減少。

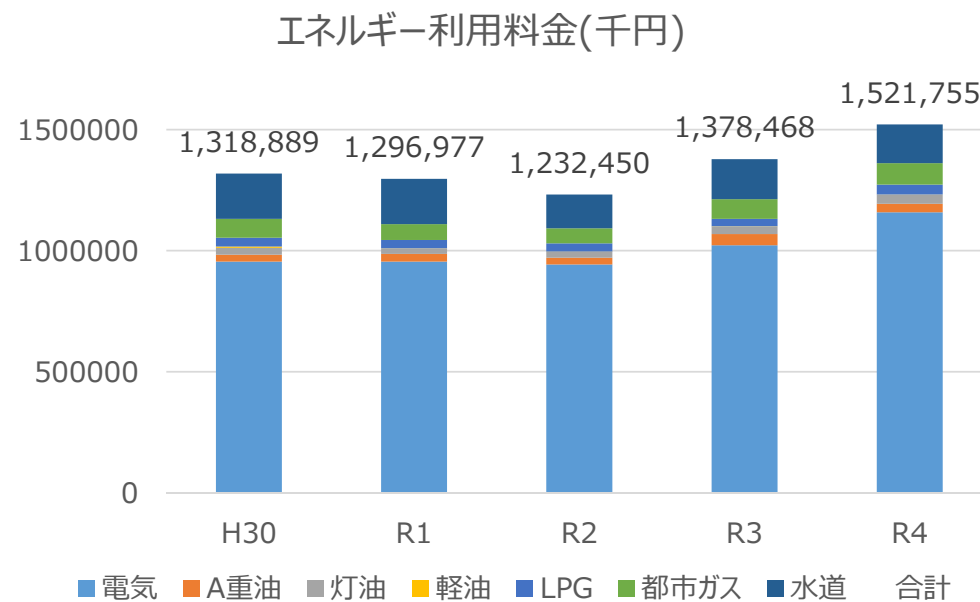
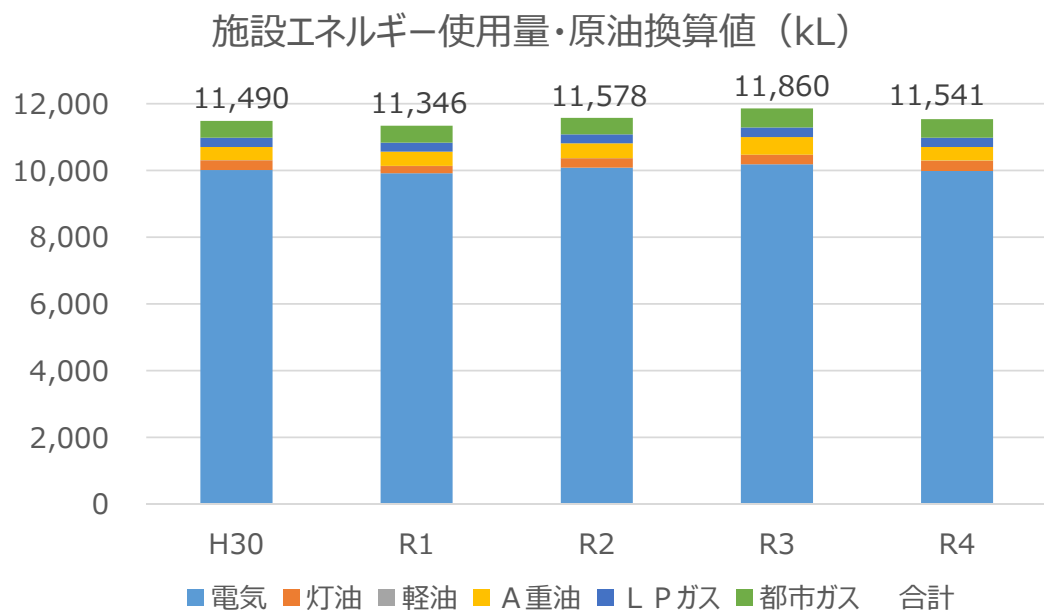
【重油・灯油・軽油】令和3年度は排水対策等による重油の使用量が多かったが、令和4年度は対前年度比約23%の減少。
灯油や軽油の主な増加要因は、清掃工場での使用量の増加や火葬件数の増加、体育施設利用客の増加によるもの。

3 施設エネルギー使用量の削減（ガス）



※LPGは対前年度比で約3%の減少、都市ガスは対前年度比で2.4%減少。

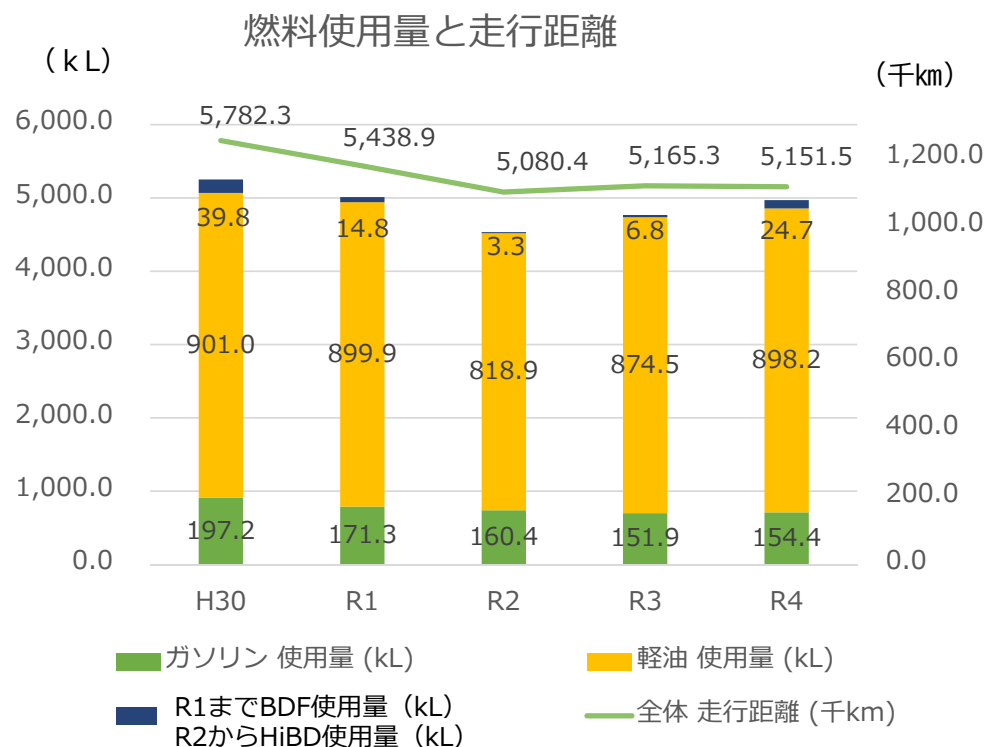
3 施設エネルギー使用量の削減（使用量・コスト）



原油換算した値は全体で対前年度比約2.7%減少しているが、エネルギー利用料金は対前年度比約10.4%増加。電気料金単価の高騰の影響により、電気使用量は減っているにもかかわらず、電気料金は約1億4千万円増加している。

共通目標 3 : 企画調整部、建設部、諸富支所、大和支所、富士支所、川副支所、久保田支所、
達成部門 富士大和温泉病院

4 自動車燃料使用量の削減



※災害による出動や工事現場の増加等により、軽油使用量は前年度に比べて2.7%増加。ガソリン使用量も対前年度比1.6%増加。

一方、走行距離は対前年度比で0.27%の微減。

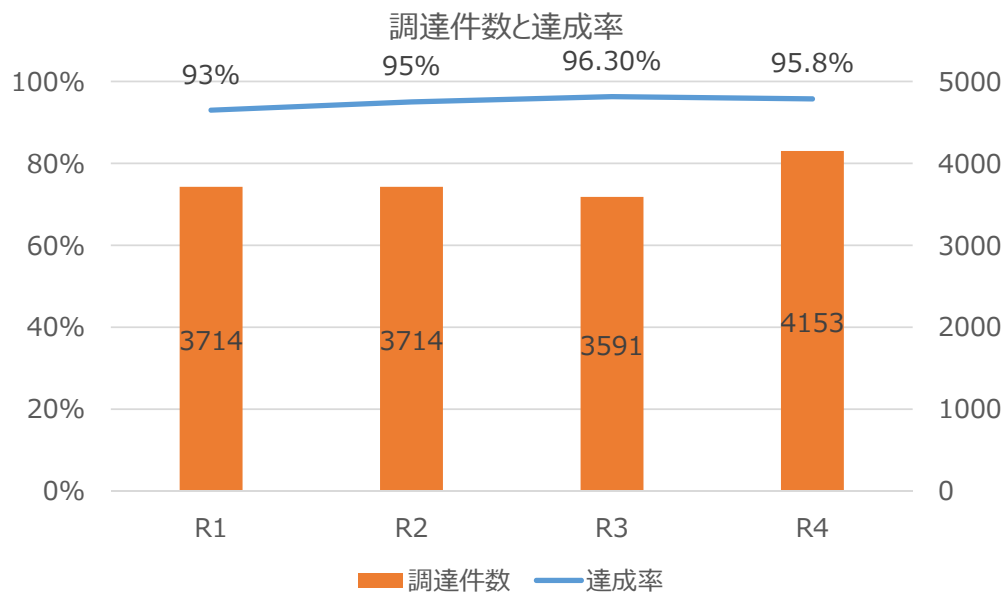
高品質バイオディーゼル (HiBD)

- R2から市営バスとごみ収集車の燃料として試験的に使用。
- R4は市営バスの全車両及びごみ収集車5台で軽油にHiBDを混合したものを燃料として使用。
(今後も徐々に精製量を増やしていく予定)

共通目標 4 : 総務部、経済部、農林水産部、環境部、保健福祉部、地域振興部、教育部、各種委員会、
達成部門 諸富支所、大和支所、富士支所、三瀬支所、川副支所、交通局、上下水道局、富士大和温泉病院

5 グリーン購入の推進

- ・ 全部門で目標達成率100%を目指す。



【主な未達成理由】

- ・ 機能性・安全性等の観点から選択できない
- ・ 価格が著しく高価である
- ・ そもそも適合商品がない

その他、緊急で必要だった場合や希望するものにグリーン購入適合品がなかった、等の理由で未達成というケースがあり、計画的な購入や優先順位の検討などを再度周知していく必要がある。

共通目標 5 : 企画調整部、市民生活部、大和支所、富士支所、川副支所、
達成部門 東与賀支所、久保田支所、交通局、富士大和温泉病院

令和4年度内部環境監査

対象部門：富士支所、上下水道局、経済部、川副支所

評価	内容
不適合	・環境法令の理解不足による不備（フロン排出抑制法） ・EMS関連手順書の確認不足による記載漏れ（計画書／報告書の環境法令順守状況の報告）
改善の提案	・過去の実績を評価・分析したうえでの適正な目標設定 ・環境法令の再確認
ストロングポイント	・車両燃料使用量の削減（相乗り、バス利用、会議のオンライン参加 等） ・電力使用量の削減(不要な照明OFF、適切な空調機利用 等) ・コピー用紙使用量の削減(電子申請の導入、資料のデータ化 等) ・資源の有効活用(不要文具等の譲渡、イベントでのごみの分別徹底 等)

※指摘事項については、監査後速やかに是正し、全庁に注意喚起を行っています。

また、ストロングポイントについても他部門の取組の参考となるように全庁に紹介しています。

【令和5年度監査対象】保健福祉部、子育て支援部、三瀬支所、富士大和温泉病院、国スポ・全障スポ推進部